

東京大学関連ベンチャー（2022年度） 累積創出数は526社になりました

国立大学法人東京大学（所在地：東京都文京区、総長：藤井 輝夫、以下「東京大学」）は、2021年9月に発表した基本方針『UTokyo Compass「多様性の海へ：対話が創造する未来」』の下、グローバルな展開を視野に入れたスタートアップ・エコシステムの創成を進めています。

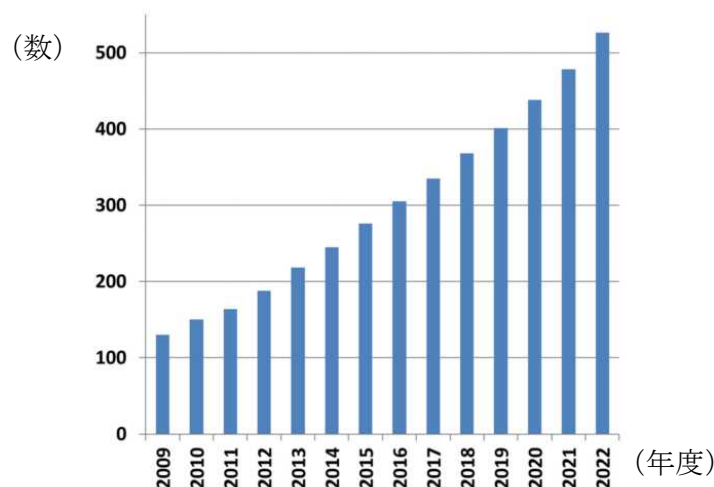
東京大学の調査によると、2022年度まで（～2023年3月末）に把握できた東京大学関連ベンチャーの累積創出数は526社となり、2021年度の社数から48社増加しました（昨年度の増加数は40社）。10年前と比較すると330社以上創出され、その増加率も順調に伸びています（図参照）。

また、東京大学キャンパス内インキュベーション施設を通じて支援を行ったベンチャー企業のうち、2022年12月に株式会社サイフューズが東京証券取引所グロース市場に上場し、また、2023年1月にはオリシロジェノミクス株式会社は米モデルナに買収されるなど、イグジットを発表した企業もありました。上場したベンチャー企業は累計26社になります。

新産業を創出し、社会に変革をもたらす担い手として、大学及び大学発のベンチャーに対する期待は、ますます高まっています。

東京大学は「社会的価値の開拓者」として、よりよい社会の実現を担う起業を重視しています。今後、投資事業を行う子会社を通じて、また他大学や企業などを含む国内外機関と連携して、ベンチャー支援を充実させていきます。

【東京大学 産学協創推進本部 ウェブサイト】 <https://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/>



図：東京大学関連ベンチャー累積創出数推移

【参考】

東大関連ベンチャーの定義について

東京大学関連ベンチャーとは、「東京大学における教育研究に基づく技術やビジネス手法をもとにして新たに設立した企業」を指します。具体的には、下記の7つの区分のうち1つ以上に該当するものを指します。

- ・ 知財の移転
本学の教職員等または学生等による知財（特許だけでなくソフトウェア著作権も含む）を核にしたベンチャー
- ・ 知財以外の技術活用
知財の移転以外の、本学での研究成果または習得した技術に基づいたベンチャー
- ・ 人材移転
本学の教職員等または学生等がベンチャーの設立者となった、またはその設立に深く関与したベンチャー。原則として本学に在籍中の起業に限る。
- ・ 関連VC出資
本学の投資子会社である東京大学協創プラットフォーム開発株式会社(略称:東大IPC)の投資先ベンチャー、および、株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズをはじめとする東大IPCのLP出資先VCの投資先ベンチャーのうち、本学との関係の深いもの
- ・ インキュベーション支援
本学の運営するインキュベーション施設を提供して本学が支援したベンチャー
- ・ 起業家教育
本学において起業家教育を受けた学生等によるベンチャー
- ・ その他
その他、本学が組織的に関係したベンチャー

【本件に関する問い合わせ先】

国立大学法人 東京大学 産学協創推進本部

E-mail : info@ducr.u-tokyo.ac.jp